



奄美大島

「アマミノクロウサギ・トラスト地を訪ねるツアー3日間」実施報告

この度、支援者の皆様からの「トラスト地に行ってみよう」という声に応え、(株)ジャルパックのご協力のもと、アマミノクロウサギ・トラスト地を訪ねるツアーを2014年11月26日～28日に実施しました。参加者は6歳から80歳代と年代も幅広く、関東から九州までお住まいも様々でした。

本ツアー最大の見どころは、アマミノクロウサギ・トラスト地です。まずは、トラスト地の西端に設置されている看板を見学。「向こうの尾根までがずっとトラスト地です」とのガイドの説明に、100ヘクタールという森の広大さに驚くとともに、ここが永久に守られる土地であることを実感しました。その後、古志集落側からトラスト地を遠望し、公民館では集落の皆様と懇談する時間ももつことができました。

もうひとつの見どころ、夜の森ウォッチングでは、幸運なことに、アマミノクロウサギ、ケナガネズ

ミ、アマミシカワガエルなど、多くの夜行性の生き物に遭遇しました。また、姿は見えませんが、森の奥から聞こえてくる鳥の声や生き物の気配に、奄美の森の豊かさを感じることができました。

一方で、環境省奄美野生生物保護センターでは、森の破壊や生き物のロードキル、外来生物のマンガースを絶滅させる取り組みなど、世界自然遺産登録に向けた様々な課題について学びました。

今回のツアーでは、支援者の皆様とトラスト地を見学できたことはもちろん、世界自然遺産登録が予定されている奄美大島ならではの自然や風土、文化に触れるとともに、地域が抱える課題についても学び、かけがえのないものを後世に残すナショナル・トラストの意義を改めて考える時間を共有することができました。

今回のツアー実施の経験をふまえ、今後もこのようなツアーを定期的に企画していければと思っています。



上 トラスト地に建てられた看板前で記念撮影
下 環境省奄美野生生物保護センターにて、鈴木自然保護官による特別レクチャー。国有林と隣接している場所をトラスト地として確保できたことで、まとまった面積が将来にわたり保護できたことなど、当協会のトラスト地の意義についても解説していただきました。



上 夜の森で、車から降りて生き物を観察
下 ばしや山村での島唄に島踊りをはじめ、大島紬村や奄美パークの見学、鶏飯などの島の郷土料理など奄美文化に触れるメニューも満載でした。

公益社団法人
日本ナショナル・トラスト協会

〒171-0021
東京都豊島区西池袋2-30-20
音羽ビル
Tel.03-5979-8031
Fax.03-5979-8032

2015年1月発行 禁無断転載